



## H28年度検討の概要

- 本検討は、「香川地域継続検討協議会」(会長：香川大学危機管理先端教育研究センター長)と連携し、土器川で大規模河川氾濫が発生した際の被害想定に対して、地域が連携した「水災害に適応した強靱な社会作り」に向けた検討を、平成25年度から継続して検討しています。
- 一方、平成28年6月に「土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設立し、平成28年8月に「土器川の減災に係る取組方針」をとりまとめ、住民目線を反映した各取り組みを着実に実行していくこととしています。
- 平成28年度は、昨年度に引き続き「アクションプラン」や「住民タイムライン」の検討を行い、とりまとめます。
- そのため、土器川沿川のモデル地区を対象に、地域住民の考える防災行動等に関する意見交換・意見集約の場として、地域住民参加型のワークショップを開催します。

## ワークショップの概要

### ◆H28年度のワークショップの位置付け

- 大規模水害発生後の“地域の生き残り計画”について、“住民目線”で議論する先進的な取り組みです。
- “上下流の地域が一体”の広域的な取り組みを進める中で、土器川沿川のモデル地区を対象とした検討です(ワークショップは全2回開催します)。

### ◆ワークショップのわらい

- 土器川流域住民意見を「土器川の減災に係る取組方針」に反映し、“水害に強いまちづくり”を着実に実行していきます。

### ● 香川地域継続検討協議会

- ・メンバー 香川大学、国地方支分部局、香川県、高松市、坂出市、経済団体、インフラ各社等
- ・設立：平成24年5月31日

### ◇土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

#### ◇同上 幹事会

- 「土器川の減災に係る取組方針」の策定とフォローアップ
- ・メンバー 丸亀市、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町、香川県、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所
  - ・アドバイザー 香川大学危機管理先端教育研究センター



連携



住民意見の反映

### ● 水害に強いまちづくり検討会

- ・メンバー 香川大学危機管理先端教育研究センター、香川県(危機管理課、中議土木事務所)、丸亀市、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町、香川県防災士会、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所



モデル地区における地域住民を対象とした情報共有・意見集約

### ★ 水害に強いまちづくりワークショップ (WS)

- ・メンバー 土器川下流部右岸(丸亀市土器町)の地域住民、香川大学危機管理先端教育研究センター、香川県(危機管理課、中議土木事務所)、丸亀市、香川県防災士会、高松地方気象台、四国地方整備局香川河川国道事務所

### ～ 水害に強いまちづくりワークショップの流れ ～

H28年度	情報の共有	意見出しのテーマ
第4回WS 11月23日実施	モデル地区における複合災害(堤防決壊、土砂災害、内水を想定) 防災関係機関による緊急活動内容	堤防決壊後の水害発生時における住民目線による時間軸に 応じた防災行動を考える (いつ、誰が、何をするか)
第5回WS 1月15日予定	応急対策期の住民タイムライン(たたき台)の提示 (第4回WS意見の反映)	防災行動の課題・重点対策を考える (住民タイムラインに従って行動すれば、応急対策がスムーズにできるか)

## H28ワークショップ等に関する詳しい情報はこちら・・・

平成25年度からの取り組みや本検討の詳しい内容、ワークショップの開催告知・報告などの情報は、以下のアドレスから閲覧することができます。



香川河川国道事務所ホームページの左のパナーからも閲覧できます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/daikibosuigai/index.html>

「土器川における水害に強いまちづくり検討」、「ワークショップ」に関するお問い合わせは・・・



国土交通省四国地方整備局  
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>  
〒760-8546 高松市福岡町4-26-32  
TEL: 087-821-1619 (工務第一課直通) FAX: 087-821-1713



# 「第4回水害に強いまちづくりワークショップ」を開催しました

- 平成28年11月23日（水）に土器川下流部右岸モデル地区（丸亀市土器町）の地域住民等約30名が集まり、「第4回水害に強いまちづくりワークショップ」を丸亀市民会館（中ホール）にて開催しました。
- 第4回ワークショップ開催の様子や検討内容等について、ご報告します。



## 第4回ワークショップの内容

### ◆第4回ワークショップ検討のテーマ

- 土器川下流部右岸**モデル地区（丸亀市土器町）**を対象に、台風接近や降雨量の増大に伴い、大規模水害や土砂災害、内水氾濫を含む**複合災害**が発生し、**甚大な被害が発生した場面**を想定しました。
- 自宅や職場と避難所の位置関係や避難ルートを確認するとともに、水害発生後の場面での、**地域住民や地域コミュニティの防災行動**について、3つのテーブルで検討しました。

### 【検討ー1：透明シートと旗立てグッズで検討しました】

- ◆ 自宅から避難所までの**避難ルート**や**緊急活動拠点**などの位置関係を大規模浸水想定図に記入し、大規模水害時の状況や**緊急活動がどこで何が行われるか**を把握・共有・イメージしました。

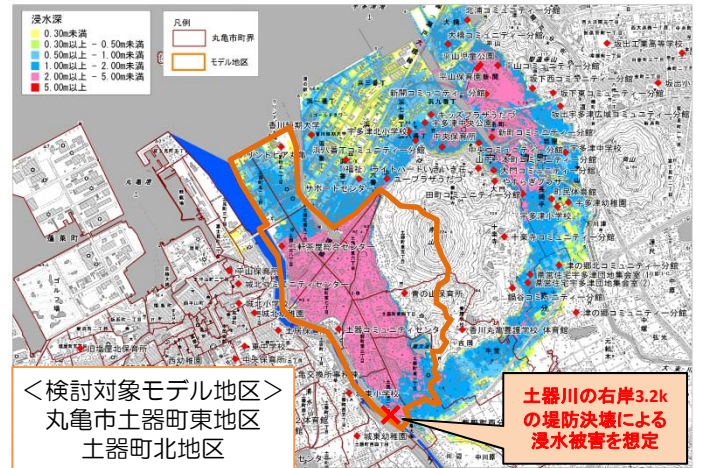


自宅、避難所に旗を立てて、緊急活動拠点の位置関係や被害状況を図面で確認しました

透明シートでの検討の様子

### ◆第4回ワークショップを実施して…

- ◆ 堤防決壊による甚大な水害が発生した場面での防災行動に関する数多くの意見が出されました。
- ＜例えば＞
  - 家族とともに自治会員の連携による安否確認が大事
  - 避難所運営経験がないためルール決めが必要
  - 外国人居住者への対応をどうするのか
  - 衛生面の管理、薬の確保など、支援物資の効率的な分配が必要
  - 排水状況の情報提供・収集が必要 etc



＜検討対象モデル地区＞  
丸亀市土器町東地区  
土器町北地区

土器川の右岸3.2kの堤防決壊による浸水被害を想定

検討対象モデル地区

### 【検討ー2：意見カードで検討しました】

- ◆ 大規模水害時の住民の防災行動シミュレーションのために、水害発生後の甚大な被害状況として、『**2つの場面（ステージ）**』を想定しました。



＜場面：ステージ1：土曜日 午後3時頃＞

『堤防が決壊して、半日が経過した』

水害を受けて甚大な被害が発生

＜場面：ステージ2：火曜日 午前6時頃＞

『堤防が決壊して、3日目の朝を迎えた』

- ◆ 2つの場面において、“その時、あなたは、地域は、行政は、どう行動するべきか？”をテーマに、意見カードに記入し、意見を分類整理しながら、検討しました。



検討の様子

3つのテーブルに分かれて、検討しました

防災行動等を意見カードに記入し、分類整理しました



テーブル発表の様子

次回は『**応急対策期のタイムライン**』や**重点対策**を検討します